



西小だより

7 月 号

3・7・5

・考える子
・やさしい子
・つよい子
・はたらく子



「あ・ゆ・み」

校長 淵上 こずえ

7月になり、1学期のまとめの時期となりました。学習面はもちろんのこと、生活面においても年度初めに立てた目標を振り返りながら、しっかりとまとめができるようにしていきます。

学期末といえば通知表が気になる場所ですが、その意義は次の3つであると考えられます。

- 1 通知表に記入された学校でのお子さんの良さや進歩の状況が、家庭においても認められ励まされること
- 2 保護者にお子さんの学校生活の状況を知らせることにより、学校と家庭とが連携して教育の効果を高めることができること
- 3 お子さんにとっては、学校生活や学習について振り返ることにより、自己教育力を高める機会となること

さて、本校では通知表に「あゆみ」という名前がついています。このネーミングにはどんな意図があるのかというと、「あ」「ゆ」「み」の語呂合わせで表現すれば以下ようになります。

「あ」は、新しい目標を見つけるため

「ゆ」は、夢を叶える力を身につけるため

「み」は、魅力ある自分に出会うため

担任は、子ども達一人ひとりをしっかり見つめ、一人ひとりの顔を思い浮かべながら一枚一枚心を込めて「あゆみ」の作成に当たっています。どの項目も真剣に評価し記入していますが、中でも一番力を入れているところは「お知らせ」です。「ここを頑張っていたね。こんな力がついたよ。こんな良いところがあるよ。」こうしたことに気づいてほしいと願って、長い時間をかけて一生懸命考えながら「お知らせ」を記入しています。

子ども達には、ぜひ手にした「あゆみ」を語呂合わせの観点に沿ってしっかりと見つめ、その内容をこれからの生活の中で活かしてほしいと願っています。

そして、保護者の皆様には、お子さんが歩んできた1学期の様子について具体的に知っていただくとともに、その内容を話題にしながら、お子さんの夢や目標、魅力や良さについてほめたり励ましたりしていただきますようお願いいたします。そうすることによって、「あゆみ」はより一層輝いたものとなるはずです。

1学期も残すところ2週間余りとなりました。保護者の皆様には、平素より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。また、ご家庭での新型コロナウイルス感染予防やお子さんの体調管理、交通事故等の防止にもご配慮いただいたお陰で、大過なく過ごすことができいております。本当にありがとうございます。間もなく長い夏休みに入りますが、引き続きお子さんの体調管理、新型コロナウイルス感染予防、安全な生活にご留意いただき、2学期の始業式が全員で元気に迎えられるよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

「おやじの会」ツツジの剪定作業

6月26日(土)に「おやじの会」の方々が、校地内のツツジやツゲの剪定や草刈りをしてくださいました。当日は時折小雨が降るあいにくの天候でしたが、朝の7時半から11時過ぎまで熱心に作業をしていただいたお陰で、植木が形よく整い、校庭や外周がとてもさっぱりしました。

講堂前に繁茂していた木も剪定していただき、明治34年生まれの卒業生有志33名の方が、母校教育の表象として後進者に贈ってくださった「よい人」の石碑もしっかり見えるようになりました。暑い中、長時間にわたり作業をしていただき、本当にありがとうございました。

